

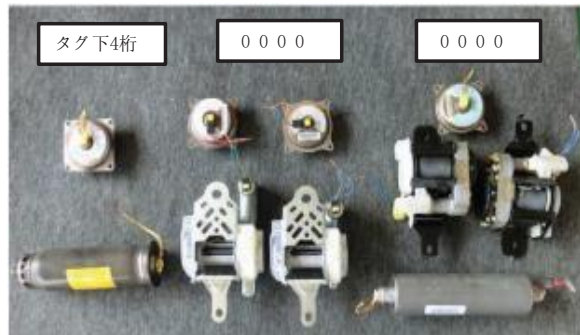
提出物一覧

今回回収する、**1ケース分**を確認します。（複数ケース分ある場合でも、確認対象は1ケース分とします）

①～③をメールに添付して提出してください。 ※機械式インフレーターの場合、P8例(R)(S)の2枚の写真が追加で必要

①車台情報

②エアバッグ類を袋から出して並べた写真



③エアバッグ類をケースに収納した写真



<ポイント>

- 自動車リサイクルシステムから出力
- 1ケースに入れる、全車台分を出力。
- 台数が多い場合は、
荷姿詳細情報の添付でも可。
- PDFが撮影して添付。
- 車台番号とエアバッグ類装備情報が
読み取れること。

<ポイント>

- 車台ごとにタグをつけ、並べて撮影。
※できれば1台ずつ撮影
- ハーネスがショートされているか確認。
- 車台情報と照らし合せ、個数●種類を確認。
- 1ケースに収納する全車台分を撮影。

<ポイント>

- 専用袋に入っていることがわかる。
- タグの車台番号が読み取れる。
- 1ケースに入れる、全車台分がある。

P 1 . 車台情報の添付

車台情報または荷姿詳細情報を印刷（PDF若しくは撮影）して送付してください。

自動車リサイクルシステム操作方法是、「電子マニフェストシステム詳細マニュアル 解体工程編」をご確認ください。

自動車リサイクルシステム (<https://www.jars.gr.jp/>)

> 事業者の方> 各種マニュアル・ツール類はこちら



> 操作・実務詳細マニュアル 解体工程PDF

(https://www.jars.gr.jp/apd/dmn/040_manual_kaitaigyosha.pdf)

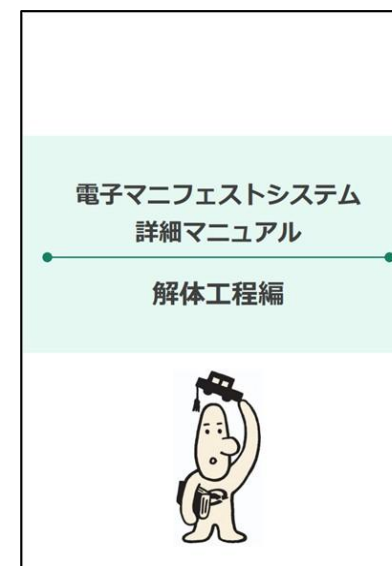
※車台情報に**記載されている全てのエアバッグ類が回収対象**です。
車台情報を確認し、全てのエアバッグ類の取り外しをお願いします。

くポイント>

車台情報と回収したエアバッグ類の個数が相違する場合、
その理由をメール本文に記載してください。

装備部位が分かりにくい車台等もあるため、しっかり実車を確認頂く様お願いをします。

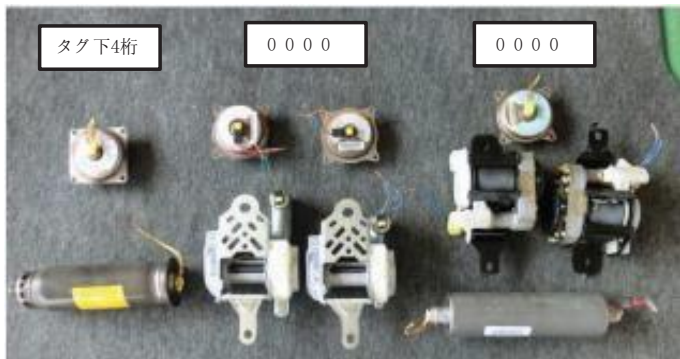
※エアバッグ類の性状確認は1ケース分を行います。
複数ケースがある場合でも、1ケース分のデータを送信してください。



P2. 写真撮影例

①エアバッグ類のハーネスが確認できる写真 （ハーネスがショート（撚り合わせ）されているか確認のため）

※個数もあわせて確認するため、全てのエアバッグ類の写真を撮影

例（A）	例（B）
	
＜ポイント＞ ●車台ごとに並べる > 例（B）のように1台ずつ写真撮影可（その際、車台番号記載のタグもあわせて撮影） ●ハーネスが出ているところを上にする（ハーネス部分が見えやすいように撮影） ●エアバッグ同士がかぶらない、写真から見切れないように撮影 ※写真をアップにしても確認できない場合は、再度撮り直しになります。 ※ハーネスがない場合は、その理由を本文に記載してください。	

＜撮り直し よくあるパターン＞

- 背景となる地面や床と同化し、ハーネスが確認できない
- メールに添付する際、画質を落としてしまい、アップにしてもよくわからない
- スマホで撮影し、画質が荒く、確認できない
- ハーネスが一部フレーム外に出ている（見切れている）
- 逆光で見えない
- 他のエアバッグと重なってしまい見えない
- ハーネスの先が下を向いていて確認できない

P3. 写真撮影例

②ケースに収納した写真

※専用の袋に入れていることがわかるように文字（緑のロゴ）等を上にして写真を撮影

例（C）	例（D）
	
＜ポイント＞ • 1台分を1袋にまとめる • 専用の袋を使用していることがわかるよう袋に記載の文字等を上にする（1袋でOK） • 荷札（タグ）が見えるようにする（車台番号 下4桁を大きく太く記載する） • ハーネスが袋から飛び出ないよう折り曲げる • ガムテープ等をしない • 回収する全ての袋を入れ、全体を撮影する	

＜撮り直し よくあるパターン＞

- 荷札（タグ）が重なっている、裏になっている、折り曲がってる等で車台番号が読み取れない
- 専用袋を使用していることがわからない
- 1つの袋に複数台分のエアバッグ類が収納されている
- 今回、回収する車台のエアバッグ類が入っていない
（1ケース＝8～12個）
- 不要なものが入っている

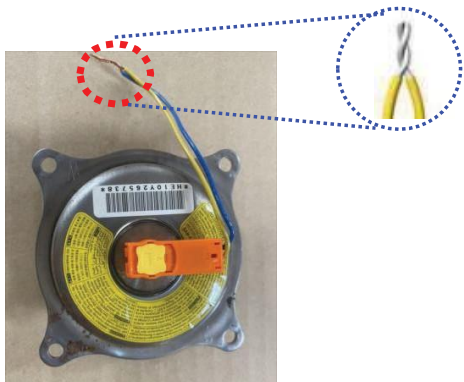
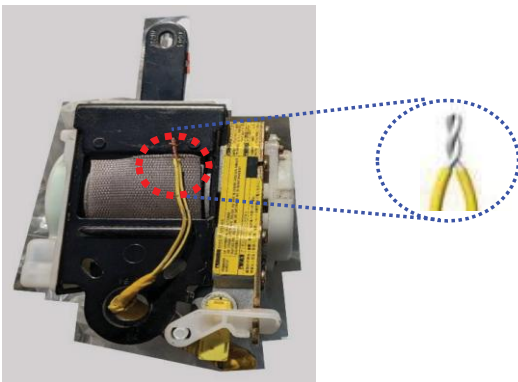
P4. 適切な処理の例



□適正な処理をしていることが分かる写真

例 (E)	例 (F)	例 (G)
		

□適正なハーネスのショート方法 ※ハーネスの被膜（ひまく）を剥いで、その部分をよりあわせる（ハーネスは3～5cm 残す）

インフレーター	プリテンショナー
	

P5. 不適切な処理の例 ✕

☐ 是正が必要な処理の写真 ※不要な部品（黄色枠）は取り外す

※安全に取り外せる金属部品等は全て取り外します。

※一般工具等で取り外しできない場合は、その旨をメールの本文に記載してください。

※シートベルトの巻き取れない部分は切り取ります。

例（H） 不要な部分が残っている（金属&布）	例（I） 不要な部分が残っている（布）	例（J） シートベルトが巻き取られていない
		

P6. 不適切な処理の例 ✕

□ 是正が必要な処理の写真 ※不要な部品 (黄色枠) は取り外す ※ハーネスの抜き取りや過分解 (緑枠) されている

例 (K)	金属&布	例 (L)	金属	例 (M)	金属
					
例 (N)	ハーネスが抜き取られている	例 (O)	シートベルトプリテンショナーとバックルを途中切断	例 (P)	シートベルトプリテンショナーの過分解
					

P7. 不適切な処理の例 ✕

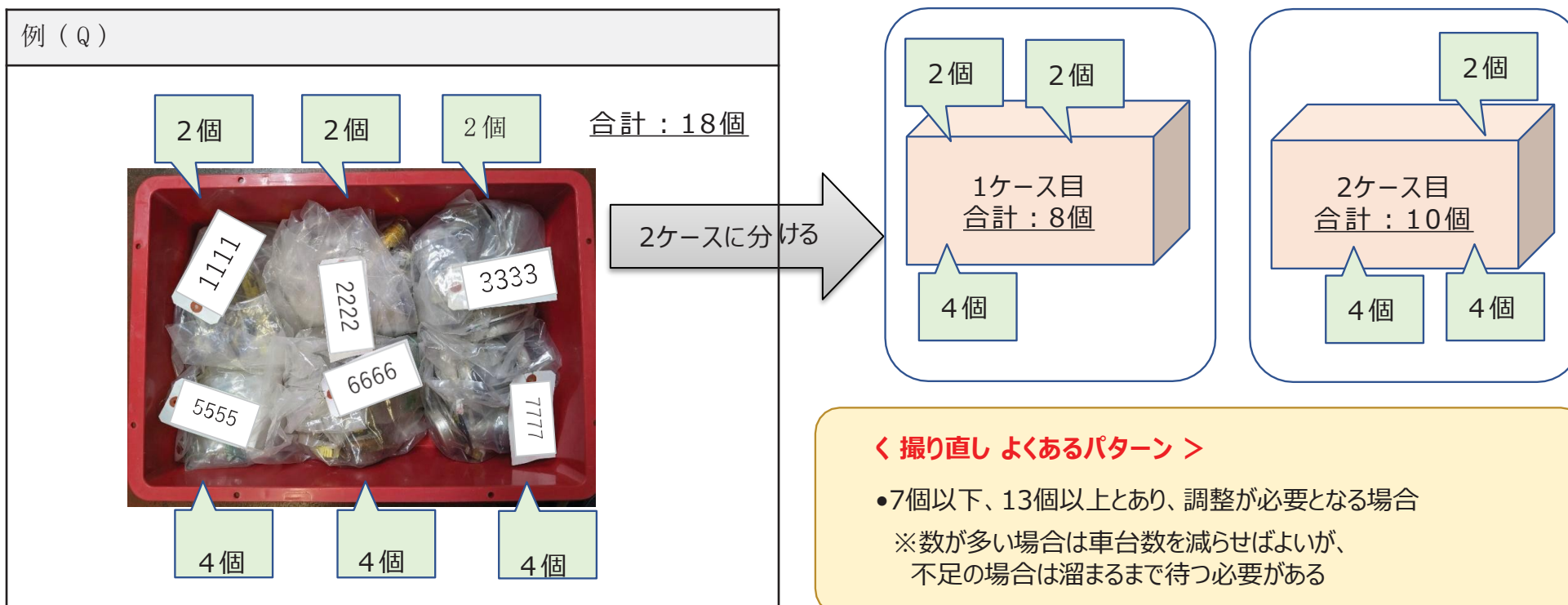
□是正が必要な処理の写真 ※1ケースに収納（回収）できるエアバッグ類は 8～12 個

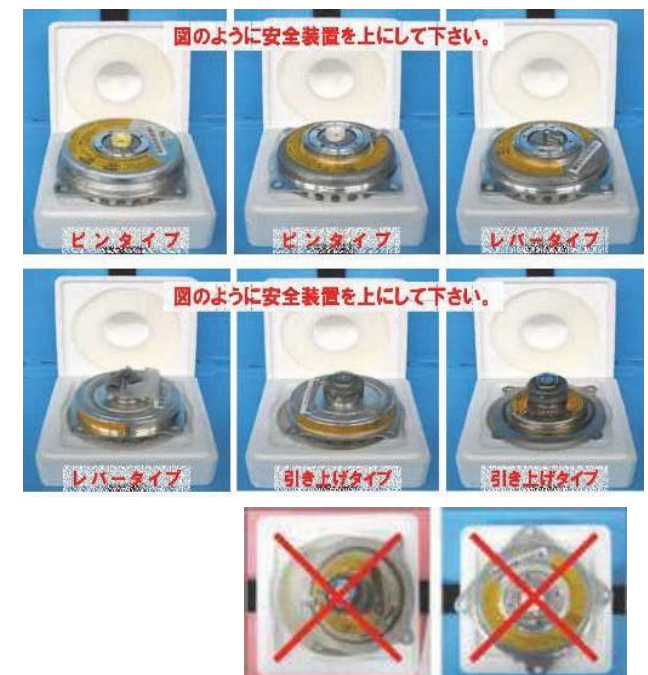
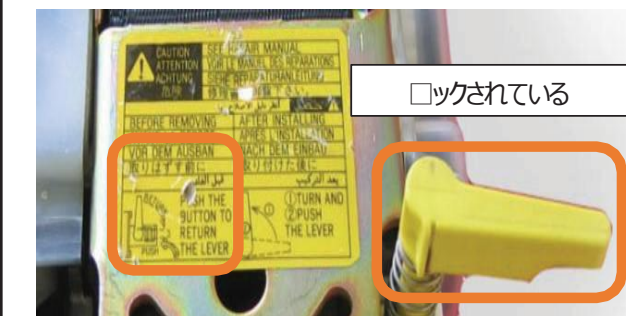
※7個以下、13個以上の場合は車台数の増減で個数を調整してください。

※1台に13個以上搭載されている場合は収納（回収）可能です。車台情報で確認してください。

※確認通知が発生した車台から取外したエアバッグ類を含む場合は、個数に関係なく集荷依頼可能です。

- 2ケース以上ある場合 性状確認は、1ケース分のみ行います。1ケース分の車台情報とエアバッグ類の写真を送付してください。



例 (R) 機械式インフレーター  図のように安全装置を上にして下さい。 ピンタイプ レバータイプ 引き上げタイプ 図のように安全装置を上にして下さい。 レバータイプ 引き上げタイプ 引き上げタイプ ＜ポイント＞ 中央からずれたり、ケースの枠から外れたりさせない	例 (S) 専用ケース  ＜ポイント＞ - マジックベルトが「溝」からずれないよう締めつける - マジックベルトに緩みがないように締めつける - 上ぶたと底ぶたがずれないように閉じる - 上ぶたと底ぶたの間から中のインフレーターが見えないよう密封する	例 (T) 機械式リトラクター  □ックされている 「取り外す前に」と書かれている部分に □ック方向の記載がある ＜ポイント＞ 安全□ックがかけられている状態か確認 上記のように□ックされている状態がわかる写真を添付する 目視が困難な場合は、□ック状態であることを申告してください。
--	--	--